



東京外国語大学
令和7年度一般選抜（前期日程）
『歴史総合，世界史探究／日本史探究』
サンプル問題解説

※ここでは『歴史総合』の論述問題を中心に解説します。



『歴史総合』大問 1 問3

問3は選択式の問題ですが、思考力が問われる難しい問題となっています。

ここでは、“**第一次世界大戦では、兵士や労働力の動員、物資の供給において従属国や植民地の存在が不可欠**”という、教科書にも必ず載っているような基本的な知識を発展させて解答を導き出します。

■解答のポイント

(d) 植民地における自治要求の動きについて ← 植民地の協力を得るため宗主国は自治・独立を約束

(b) 植民地における産業発展の歴史について ← 物資供給のための産業育成

(c) 植民地都市の形成について ← 産業育成の過程で産業労働者と都市住民が増えていく

⇒ 植民地でなぜ民族運動が広がっていったかという点でいずれも重要

(a) 植民地における共産党の設立について ← 大衆を組織化して民族運動の一端を担った共産党

⇒ 植民地の人々が民族主義的な主張を展開するときに大事な役割を果たしたという点で重要

(e) 植民地における印刷物の出版状況について ← 民族意識を広める手段としての新聞・雑誌など

⇒ 植民地の人々に民族意識を広めていったという点で重要

(f) 植民地における官僚制度の確立について ← 官僚に登用されたのは一部の有力者やエリートのみ

⇒ 普通の人々は官僚になれないため、大衆的な広がりを知るには(f)がもっとも優先度が低い

『歴史総合』大問 1 問5

問5では、皆さんの思考力や国語力が問われています。解答にあたっては、特に以下の点に留意してください。

■解答のポイント

①前後の文章をきちんと読むこと。

空欄⑤の直前には「大衆民主主義はときに、人びとを特定の方向に動員したり誘導したりすることがあるんだ。」という先生のコメントがあり、直後の史料[E]では『キング』が人々を戦争に動員していく様子が記述されています。そのことを念頭に解答してください。

②マス＝メディアの特徴を自分なりに考えること。

史料の内容や先生と生徒の会話をヒントに、マス＝メディアがどのような特徴を持っているか、自分なりに考えて簡潔にまとめてください。

③空欄にきちんと当てはまる日本語であること。

「でもマス＝メディアには、・・・」に続く文章にするため、前後の文脈から日本語としておかしくない表現とするよう注意してください。

『歴史総合』大問 1 問6

問6では、解答欄で必ず用いなければならない語句が指定されています。そのため、設問の指示や意図をしっかりと踏まえて解答する必要があります。

■解答のポイント

①6つの史料にそれぞれ指定語句が一つずつ

300字以内という指示を踏まえると、指定語句一つあたり50字程度でまとめる必要があります。それぞれの史料の要点・エッセンスを短い字数でまとめてください。

②「可能性と限界」への問い

史料の[A]～[C]では「可能性」の話を、[D]～[F]では「限界」の話をしていることが分かります。これを踏まえて、それぞれに対応した論述（ストーリー）を組み立ててください。

③専門用語の意味をきちんと踏まえる

「大衆的公共性」や「シュテットル」などの専門用語をそのまま使用するのではなく、その意味をきちんと踏まえて論述してください。「不寛容」や「国策の伝令」の意味内容も明示すること。

『歴史総合』大問 1 問6

■ どう勉強すればよいか？

① 要約に慣れる

論述問題では国語力が問われます。解答に必要なことはほぼ史料に記載されており、新たな知識を付け加える必要は基本的にありません。そのため、日頃から教科書の文章や史資料のエッセンスを要約する訓練を行うようにしてください。

② 各テーマの流れを把握する

高校の歴史総合では、「近代化」、「大衆化」、「グローバル化」など、いくつかのテーマが用意されています。それぞれのテーマの流れ（ストーリー）をしっかりと把握するようにしてください。問6は、「大衆化」の流れ（ストーリー）を理解しているかが問われる問題でした。

③ 難解な専門用語や概念をしっかりと理解する

高校の授業や教科書で難解な専門用語や概念が出てきたら、その意味や内容をしっかりと理解するようにしてください。歴史総合は発展的な知識を問う科目（暗記科目）ではありませんので、一つ一つの用語や概念について丁寧に学んでください。